●大阪堂島米況　期米は小緩み　當朝は尾利の投米に三木福の賣に向ひしは田平の利

十二日午後三時二十分發

●神戸　三月限後場止　八圓三十四錢　四月限後場止　八圓五十二錢五厘

十一日午後五時　五月限後場止　八圓六十一錢　●摂津中米　八圓六十錢

時事新報

墓地の舊習を改むべし

臺灣の蠻民が葬祭に關する儀式を重んずるの一事は同地に赴きたるものゝ知悉する所にして全嶋を通じて概ね畫然たるものゝ如し今我輩が斷然其儀式を排斥して檳榔を一定すべしと論ずるは徒に奇言を弄するにあらず事の實際に於て彼我共に便利なるものゝあればなり抑も彼地に死體を納むる木棺は長さ六尺餘にして幅も厚も之に準ずる其木棺を横にして深さ僅に二三尺に過ぎざる穴に埋め四方より土を覆ひて之を堆くし更に鳥實の如く左右に築き出して其上に芝を植るものなれば其廣さ數十歩に跨るものゝあるのみか墳所を擇ぶが爲めに城邑近傍の良地は既に占盡して狹きを告げ近來は田畑の中にまで墓地を設くるに至れりと云ふ斯の如きは未曾の土地多き今日の臺灣にして始めて行はるゝべとなれども今後内地より移住するものゝ年々に增加するときは斯る無益の虚禮に有用の土地を棄て去る可きに非ず早晩制限を加へざるべからざるは勿論の事なれば他日に至り情實の纏綿たる後に於てせんよりは方向未定の今日に於て斷行するの優れるに如かざるなり或は蠻民の喪祭を節儉にするは祖先傳來の儒教に基き既に多年の習慣を爲したるものなれば遽に手を下して之を改むるは人情の忍びざる所なりとの説もあらんかなれども若しも彼等を治むるに儒教主義に頓着して聊かも猶豫したらんには其主義に於ては彼等ゐを日本人の先輩にして自から中華の民を以て誇り心の底には吾々を輕蔑するものなれば恰も其自負心を增長せしむると同樣にして到底彼等を心服せしむるの期はあるべからず我輩の斷じて取らざる所なり我軍人の彼地に於て戰死又は病死したるものゝ墓の如きは内地と同樣甚だ簡潔にして毫も虚禮虚式を用ひず彼等の現に目撃する所なれば之を模範として日本の習慣は云々なりと説き聞かせたらば其慣習を改めしむるは左までの難事にあらざるのみか結局は彼等も自から便益を認めて自から悔るみとなれば今日に於て斷然の處置に出でんかと我輩の希望する所なり

雜報

○昨日の鐵道會議　昨日午前九時より開會し審議の末左記の諸件を可決したり

一、勢和鐵道（櫻井、松坂、川合津間）本免狀下付の件
一、紀和鐵道（五條、和歌山間）本免狀下付の件
一、近江鐵道（彦根、深川間）本免狀下付の件
一、加悦鐵道（津幡、七尾間）本免狀下付の件
一、磯濱鐵道（水戸、祝町間）本免狀下付の件
一、函館鐵道（函館、湯の川間）本免狀下付の件
一、山陽鐵道（三田尻、山口間）假免狀下付の件
一、中國鐵道（倉敷、高梁間）假免狀下付の件
一、讃岐鐵道（高松、水主、鎌ヶ澤間）假免狀下付の件
一、太田輕便鐵道設計變更許可の件
一、山陽鐵道矩線目論見變更許可の件
一、房總鐵道線路變更許可の件
一、紀河鐵道線路變更許可の件

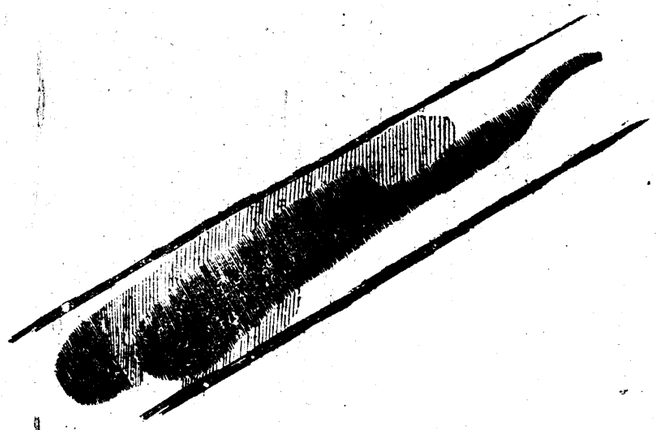
○太田輕便鐵道外三件　昨日の鐵道會議にて議決したる太田輕便鐵道の設計變更は本鐵道に山鹿鐵道の目論見變更は本の業、山鹿間に房總鐵道の線路變更は一ノ宮、勝浦間に紀河鐵道の線路變更は四條畷、水津、入間田間に執れも變更するなりと云ふ

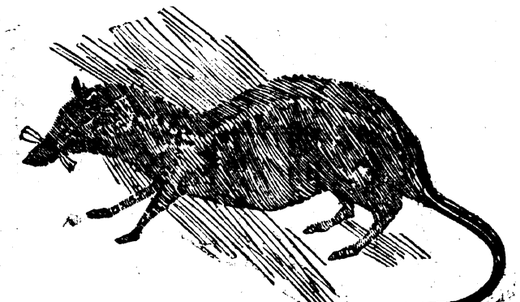
○日本の海運事業　に就き桑港クロニクル新聞は論じて曰く日本政府は千噸以上の船舶製造者を保護し又一時間十ノットの速力ある千噸以上の船舶所有者にも同樣の保護金を與へ而して其補助金の割合は五百噸毎及び一ノット毎に遞加するの割合なりと云ふ余輩の考ふる所を以てすれば是れ明かに日本が大に太平洋に其貿易事業を擴張せんとする示すものなり日本は内地の商業貿易にて十數年間の經驗を積みたれば今や幾多の有爲なる船員及び船長を以て船艦を操縱し得べきは近頃の戰爭にても知り得べし且つ日本に於ては米國抔に比類なき低廉の給料を以て此等の船員及び船長を雇ふ事を得るなり而して其結果は如何に成行くかと云ふに此等の日本商船は第一着に太平洋航海事業に從事し現に横濱及び桑港間を往復して旅客及び荷物を取扱ふ各汽船會社は爲めに競爭上失敗を招くは理の見易き處なり果して然らば之に對する方策は唯太平洋の航海事業を日本人の一手に攬案するか或は日本人と競爭し得るだけ此等の亞米利加商船を保護するかの二途あるのみ是れ宜しく當市の重立たる人々が熟議すべき一大問題なり日本は目下世界の實業社會に於て確に一箇の强の者なり日本人民は非常の大志と强健なる思想を有し且つ彼等は勉强忍耐にして、滑脱、頓智、氣力ある國民なるのみとは余輩の宜しく記憶すべき處にして若し太平洋上に於て彼等と角逐せんと欲せば堅固なる決心を以て事に從はざるべからずと

○露國西比利亞商隊　北京よりの特報に曰く西比利亞ブリアッド族にパトマイフと稱する土豪あり嘗て露都セント ピートルスボルグの大學に遊び業を卒へて歸りし後は專ら商業に從事し部下實に三千に達すと云ふ氏は今回其部下百五十人を率ゐて後貝加爾州の首府チタを發して南征の途に就くよし噂せしが四五日前漸く部下二十餘名を從へて北京に着し露の公使館に入れり傳ふるものは云ふ氏が僅に二十餘名の部下を率ゐたるは北京に於て百有餘名を容るゝの大家屋なきが故なりと越て二三日パドマイフは十三名の部下を引率し商業の視察と稱して天津に下れり氏の露都にあるや皇宮の一部に住居し常に皇帝の愛顧を受けたりと云ふ其今回の希望は單に商業にあるか將た他に目的あるやは未だ知るべからずと雖も中央亞細亞の衰亡史を繙くものは誰か商隊が如何に勢力ありしやを知らざる者あらんや特に膠州灣頭露國軍艦旗の翻々たる者あるを思へば露國が東方に意を用ふるの切なるを察するに足るべし

○ニカラガ運河　米國下院の同運河委員中には其工事費一億三千六百萬弗はあまり高價なりと非難するものあり下院議員ドーリットル氏は同運河を完成するには七千萬弗にて足れりと云へり同委員會は委員總會に提出すべき原案を起草せんが爲め集會せんとす多分去る頃上院に提出せられしモルガン案を本として起草するならん又同會社債券の保證は一億萬弗に超過せざるみと等重なる條項にして政府にて其株券の多數を負擔し其重役の多數をも政府にて任命し政府の機關手にて其工事を監督し凡ての會計も大藏省の嚴重なる保管の下に置く事なども亦其條項の重なるものならん

○新發明寫眞術の試驗　前號の紙上に記載したる新寫眞術の公にせらるゝや東西の專門家は其試驗に心を傾け米國イエール大學のライト博士は電氣の消極光線を假りて鼠を寫したりしが其皮の硬きにも拘らず明かに骨の組織を示めせり又スイントン氏は電燈中にある白金線の兩極を氏の發明せる靜電誘導機に繋ぎて之を机上に置き紙箱の中に在る西洋剃刀を寫せしに是れも首尾能く成功して美事に剃刀の形を寫出するを得たり而して氏が右の試驗を行ふ際には普通の寫眞板の面を塗るアルミニアムの板にて蓋ひ其上に寫す可き物を置きしと





○伊藤總理の歸京　此程大磯に赴きたる伊藤總理大臣は一昨夜の數列車にて歸京し伊皿子の私邸に入りたるよし

○巡査の京城着　此程朝鮮京城に派遣したる一隊の巡査は既に同地に着したる旨其筋に報告ありたるよし

○甘粛の官軍稍振ふ　此福祥の上書に依れば甘粛の官軍奏書の略に云ふ前に西寧城の圍に因り何得彪の馬步四營を派し圍解けたりと雖も逆賊尚未だ退上年十二月一日各隊を出し西寧に向ひ勝を得四日五日又隊を出して七日何得彪身に砲傷を受け創を巢を破り逆首二名を斬り都司榮通等即ち此軍大に振ふの時に乘じて攻め元惡をして首を授け餘

○佛國とブラジルの危機　ブラジル國の地位及び同地の人は恐容し難きものあり佛國政府は取らざるべからずと巴里諸新聞

○泥棒は馬肉屋より足　下町三十五番地平民土屋酉松の宅へは曩に淺草駒形の呉服屋が日清の戰爭中臺灣行の軍夫と云へるは曩に淺草駒形の呉服が日清の戰爭中臺灣行の軍夫と八月歸京したる後は日本橋區柳ス商小山富吉方に雇はれ居りしの間にも合ふとみろより主人もりしに根が性惡の賊と見え去る際を覗ふて二階の箪笥に入れあて其儘逃走し何れへか影を隱したは一方ならず早速日本橋警察署に事巡査は直ちに探偵に取掛りて るならんと吉原洲崎等隈なく探さりしに墨十一日に至り不圖此りながら賊傷の馬肉屋にて車夫ば一人の男聲張り揚げて昨夜此せて八十五錢貰つたが珍らしひかと言ふ話しの如何にも怪しけの者なる可しとて其車夫を呼びに其客といふは柳原より車に乘目十七番地の澁谷庄三郎方に名直ちに區役所へ到りて庄三郎曩に軍夫と爲りて臺灣にありと此者みな之助と深く關係ある査に應援を願み前後より踏込み逮はず淺之助は此家に潜伏し居郎居らざるに依り淺之助を捕へ助は昨夜八百圓盜取りて主人の に乘りて途中書屋に入り一圓拂ひ殘り八十五錢は車夫に遣りみ今朝は早々支度して臺灣に渡五圓を庄三郎に托し衣類の購求之を買購へんとて外出したる事を白狀したるにぜ早速拘引し淺之助は此八百圓を以て渡臺の算なりしといふ

○露帝の顔　第十六回　逃亡の計畫　ペンニーの皮膚には痣と腫と腫と腫とありけるが余は彼れの顔及び顔

●大阪堂島米況　期米は小緩み　當朝は尾利の投米に三木福の賣に向ひしは田平の利